

令和4年第5回定例

羅臼町教育委員会議事録

令和4年5月定例羅臼町教育委員会

1 日 時 令和4年5月25日(水) 13時30分～14時45分

2 場 所 羅臼町役場3階第5・6会議室

3 出席者

教育長	石 崎 佳 典
委 員	萬 屋 志都子
委 員	佐々木 美 穂
教育指導主幹	横 澤 英 三
学務課長	平 田 充
社会教育課長	野 田 泰 寿
学校教育係長	城 戸 千 尋
総務管理係	黒 田 一 気

4 欠席者

委 員	葛 西 良 浩
委 員	芦 崎 拓 也

5 傍聴者 なし

6 議 題

議案 第12号 令和4年度準用保護児童・生徒の認定について

報告 第 7号 諸会議・諸行事について

7 その他

(1)主幹通信について

(2)情報共有について

【開 会】

○石崎教育長

それでは、これより令和4年第5回教育委員会を開催いたします。

開催に先立ちまして一言ご挨拶申し上げます。先日、萬屋委員が北海道市町村教育委員会連合会の三役である監事にご就任されたとの通知があり、北海道教育長との面会の機会もあったということで、任期中、御苦勞もあるとは存じますが何卒宜しく願い申し上げます。

前回の第4回教育委員会の前後から町内のスポーツ協会や文化協会などの社会教育関係団体の総会が2年ぶりに対面方式で開催されております。しかしながら、管内組織においては、別海町で新型コロナウイルス感染症のクラスターが確認された時期であったことから書面開催もしくはオンライン方式での開催となっていたところです。

そのような中、新年度が始まり、教育委員会が所管する学校運営協議会や社会教育委員の会などの1回目の会議が順次開催されていることに加えて、水産教室やこまぐさ学級などの事業も実施しております。

今月の大型連休中には生徒児童に大きな事故などはなく安堵していたところですが、ご承知のとおり知床沖で観光船沈没事故が発生し、現在も行方不明者の捜索が続いているところですが、1日でも早く発見されることを祈っております。

新型コロナウイルス感染症は未だに収束せず、根室管内においても多くの感染者が確認され続けており予断を許さない状況ではありますが、感染対策に万全を期して業務を継続してまいりたいと考えております。

それでは会議に入らせて頂きます。

本日、葛西委員と芦崎委員が欠席となっておりますが、委員の半数以上が出席されておりますので会議は成立といたします。

本日の議事録署名委員につきましては、萬屋委員と佐々木委員をお願いいたします。

本日の議題は、議案第12号「令和4年度準用保護児童・生徒の認定について」、報告第7号「諸会議・諸行事について」となっております。

なお、本日の議案第12号につきましては、羅臼町教育委員会会議規則第8条第1項の各号に該当しませんが、個人情報保護の観点から、公開しないこととしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員各位了承)

それでは、議案第12号は公開しないことといたします。

議事に入る前に、一点報告を致します

学校での新型コロナウイルス感染症に関する状況についてです。

知床未来中学校において、5月19日に2年生1名のコロナ陽性者の報告があり、5月20日を臨時休校とし、その後、濃厚接触者のピックアップを行い対象者の出席停止、校内消毒などの対応をとりました。その後、土曜日、日曜日をはさみ23日月曜日から学校を再開しましたが、更に3年生、1名が21日土曜日にPCR検査の結果が判明し、陽性との報告がありました。なお、この1名については、すでに風邪症状で18日から欠席していることから特段の対応はとっておりません。

再開後の学校においては、23日月曜日に抗原検査キットを全校生徒、教員に配布し、検査を実施したところ、翌日24日の検査結果で、2年生、3年生各1名の陽性が確認されたことから、24日の2時間目以降、本日も含めて臨時休校の措置をとっています。

明日以降の対応としては、抗原検査キットによる陽性者の内、直近まで登校していた3年生1名のPCR検査の結果により判断を行うこととします。なお、3年生1名のPCR検査の結果については本日中に判明する見込みとなっております。

羅臼小学校においては、5月23日に1年生の陽性者の報告を受けており、その児童は5月18日から現在まで欠席しており、今のところ感染の広がりはありませんが、濃厚接触者のピックアップを行い、該当者の出席停止など対応しています。

なお、小学校、中学校ともに陽性者と兄弟関係にある生徒児童いるが、それぞれ濃厚接触者として出席停止などの措置をとっており、今後においても感染状況を注視しながら、感染拡大防止を図るため、家庭、学校と連携してまいります。

それでは、議案に入ります。

【議 事】

●議案 第12号 令和4年度準用保護児童・生徒の認定について

○石崎教育長

それでは、議案第12号「令和4年度準用保護児童・生徒の認定について」、担当課長から説明をお願いいたします。

非 公 開

●議案 第6号 諸会議・諸行事について

○石崎教育長

次に、報告第7号「諸会議・諸行事について」、担当課長から説明をお願いいたします。

○学務課長

報告第7号「諸会議・諸行事について」、ご説明いたします。諸会議・諸行事につきまして、5月から6月の主な予定を掲載しております。

学務課の所管行事について、冒頭に教育長より学校における新型コロナウイルス感染症の状況について説明がありましたが、掲載した予定の内、6月5日に知床未来中学校の体育祭が予定されておりましたが、感染状況を考慮し延期を決定しました。改めて日程が確定しましたら委員のみなさまへお知らせ致します。

今後の予定としまして、6月11日に知床学研修の洋上クルージング、6月12日に春松小学校と羅臼小学校の運動会、6月18日に知床学研修の羅臼湖トレッキングが予定されており、次回の教育委員会は6月29日を予定しています。

なお、社会教育課、図書館、郷土資料館の予定については後ほど資料をご確認願います。

諸会議、諸行事の説明は以上となりますが、知床学研修の洋上クルージングと羅臼湖トレッキングについて教育委員のみなさまも参加のご希望がありまたら対応させて頂きますので、ぜひご検討ください。

私からは以上です。

○石崎教育長

報告第7号について、ご意見、ご質問はございますか。

○佐々木委員

春松幼稚園と羅臼幼稚園の運動会の開催予定はいつでしょうか。

○学務課長

春松幼稚園が9月11日、羅臼幼稚園が10月2日となっています。

なお、学校行事としては修学旅行が控えており、羅臼小学校が6月22日から、春松小学校が6月16日から、知床未来中学校が7月5日からの予定となっていますので、学校でのコロナの感染状況もありますが、感染対策の上で何とか実施できればと考えているところです。

○佐々木委員

修学旅行の行先は既に決まっていますか。

○学務課長

小学校が釧路・北見方面、中学校が札幌となっています。

○石崎教育長

その他にご意見、ご質問はありませんか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

それでは、報告第7号「諸会議・諸行事について」は承認されました。

以上で議事を終了いたします。

【その他】

●指導主幹通信について

○石崎教育長

その他として、教育指導主幹通信について、横澤主幹より報告をお願いいたします。

○横澤主幹

(主幹通信について説明)

○石崎教育長

ただいまの報告について、ご意見、ご質問はございますか。

○萬屋委員

(E S D研修及び一貫合同研修会について)

この研修会は羅臼町内で実施予定ですか。

○横澤主幹

羅臼町内で開催予定です。

○佐々木委員

(教師力向上研修・E S D研修及び一貫合同研修会について)

この研修会は町内の全教員が対象ですか。

○横澤主幹

町内の幼稚園、小学校、中学校、高校の全教員が対象となっています。

○石崎教育長

他に何かご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

それでは、その他2点目として情報共有について、学務課長より報告をお願いします。

○学務課長

5月23日月曜日の18時から春松小学校PTAと、5月24日火曜日の19時から羅臼小学校PTAそれぞれと、町内の出生者数について情報共有の機会を設けました。

情報共有の目的としては、令和2年度に羅臼町教育委員会で作成した幼稚園と小学校の適正配置計画の基本方針として、当面は小学校2校、幼稚園2園を維持することとなっており、町立小学校は複式学級を避けることが望ましく、複式学級となる場合には統廃合の必要について検討することとなっていることに加えて、小学校の統廃合の検討と併せて幼稚園の統廃合も一緒に検討する内容となっていることから、出生者数の推移から複式学級の可能性、統廃合の見通しについて情報共有を図るものです。

適正配置計画は令和2年度から令和6年度までの5年間の計画となっており、羅臼町としては計画期間中の2校2園の維持を基本としていますが、地域から統廃合を望む意向がある場合は、統廃合に向けた協議を行うこととしていることから、計画期間中においても統廃合の検討がなされる場合もありますが、現時点では地域の意向がない場合は計画どおりに進めるという認識です。

また、計画内では園児、児童及び学級数は毎年推計を行い、基本方針どおり複式学級になる状況がみられたときには、統廃合に向けた協議を行うこととされています。計画による推計を調べたところ、2022年4月1日時点では複式学級が確定している状況はありませんが、可能性はあることから、今年の内推計資料を用いながらPTAと情報共有を行ったところです。

資料の内容としては、2001年から2022年まで各年度の出生数に対し、2022年4月1日時点で何人がどの地区の幼稚園もしくは小学校に通園・通学しているかを示しています。例えば、2012年度の出生者数は42名で、2022年4月1日時点では37名が小学校4年生となっており、その内訳として春松小学校に15名、羅臼小学校に22名が通学していることが読みとれます。出生数42名に対して、2022年4月1日時点の通学人数が37名となっており、町外転出などの理由と思われるが、5名が町内の小学校に通学していないということも同時に読み取れる資料となっています。

太枠の部分に注目して頂きながら、2015年生まれが今年度、新小学校1年生となっており、春松小学校に8名が入学しており、羅臼小学校には21名が入学しています。

今年度、新小学校2年生の2014年生まれの児童が春松小学校に9名、羅臼小学校に21名が通学しています。太枠となっている春松小学校の1年生と2年生については、転出などにより両学年で今年度中に1名でも減った場合には16名以下となり、来年度からは複式学級となる可能性があるというレベルまで子どもの数が減少しているという状況となっています。

さらに、2018年度に春松幼稚園に入園したのが6名で、出生数だけで推測すると2019年度以降はひと桁台の入園数となる見込みとなっており、2018年度生まれの子どももた

ちが小学校3年生、2019年度生まれの子どもたち小学校2年生になる段階で複式学級になり、ひと桁台の出生者数から考えると春松小学校は近い将来、ずっと複式学級となる可能性が高いことから、具体的な数字を示した上で、改めてPTAと情報共有を行ったところです。なお、春松小学校は正副会長、羅臼小学校は総務委員会委員が出席しております。

1校1園化については4年前にも協議されており、春松地区については4年前の協議と今回の情報共有の場に参加していた方々はほとんど変わらないメンバーであったが、今回の情報共有の場においては、「個人的には春松地区として、もう統廃合について反対ではありません。」という意見や、4年前の協議において統廃合反対の意見を出していた出席者の子どもたちは小学校卒業を控えており「私たちとしては統廃合について意見を言える立場にない。」という発言もありましたが、いずれにしてもその場にいるメンバーは春松小学校のPTA役員であり、PTAとして学校の在り方がどうあるべきかを考えて頂く立場の方々であると考え、発言の意図について慎重に考えなければならないと認識しています。

羅臼町教育委員会としては令和2年から令和6年度まで2校2園を維持していくこととしているため、地域から統廃合を望む意向がない限りは現在の体制を継続していくという説明を行いました。

羅臼地区からは、「4年前の協議の際にも出生者数の資料による説明が行われていたのか。」という質問があり、当時の説明資料を確認したところ、まったく同じ資料ではないが2019年度生まれまでの推計資料により説明を行っていました。

当時の資料を確認すると、2014年度の春松地区の子どもは9名で今回の資料と同数であったが、今年、新小学校1年生の2015年度生まれを比較すると、4年前の資料では11人で、今回の資料では8名となっており4年前の時点では2014年度と2015年度生まれを合計すると20名となり、当時は複式学級や統廃合の可能性についての認識が地域として薄かったのではないかと思います。また、今年度、幼稚園に入園した2018年度生まれは4年前の資料では11名となっているが、2019年度生まれは6名となっており、ひと桁台であることから近い将来複式学級になる可能性があるという説明は当時も行っていたところで、今回の情報共有でも改めて説明したところです。

あくまでも今回のPTAとの情報共有は、統廃合の検討の必要性ではなく出生者数からみた羅臼町の現状を共有するという目的で行っていますので、教育委員のみならずみなさまにも情報共有させていただきます。

私からは以上です。

○石崎教育長

ただいまの情報共有について、ご意見、ご質問はございますか。

○石崎教育長

あくまでも、令和6年度までは2校2園を維持するという方針の中で、出生者数から推測すると複式学級になる可能性が出てきていることから、教育委員会として春松地区と羅臼地区それぞれに情報共有したところあり、具体的に統廃合に向けた動きを取っている状況ではありません。

○佐々木委員

今回の情報共有の場に参加して頂いたPTAの役員は、その後の活動の中で、情報共有された内容を広くお知らせするような動きをとる予定はありますか。

○学務課長

情報共有の場から3日しか経過していないこともあり、現時点でのPTA独自の動きは把握しておらず、今後のPTA活動がどのように展開していくのかも見えていない状況です。

しかし、両地区のPTAからは幼稚園のPTAにも同じ内容を説明してほしいという希望がありましたので、昨日の園長・副園長会議で本件について両園において検討して頂くこととしています。

○萬屋委員

現在の春松地区の小学校1年生と小学校2年生の内、1名でも減ると来年度からはその複式学級であるとのことでしたが、16名未満ではなく16名以下となった時点で複式学級となるという認識で間違いありませんか。

○学務課長

間違いありません。

○横澤主幹

転校等での人数減少もあり得ますが、情報共有の資料にある各地区の通学人数には特別支援の生徒も内数として入っており、学級編成するにあたっては特別支援の生徒を除いて学級編成することになります。

現在、複式学級となる可能性が高い春松小学校の1年生と2年生に特別支援の生徒はいないが、在籍変更し普通学級の人数が減った場合にも複式学級となります。

○佐々木委員

2018年度生まれの春松地区の6名が新小学校1年生になった場合は複式学級になりますか。

○学務課長

1年生を含む複式学級は1年生と2年生の生徒の人数が8名以下でなければ複式学級とはなりません。2018年度生まれの6名が小学校1年生になる時に、2017年度生まれの14名が小学校2年生となり、合計の生徒数が20名の見込みであることから、現状の人数のままであれば複式学級とはなりません。

同じ理由で2019年度生まれの4名が小学校1年生になった時に、2018年度生まれの小学校2年生が6名おり、合計の生徒数が10名の見込みであるため、1年生を含む複式学級とはなりません。

○萬屋委員

適正配置計画は令和6年度まで、現在の2校2園の維持としていますが、出生者数の推計の限り、2018年度以降、特に春松地区の出生数がひと桁台となっている状況を考慮しても、PTAの皆さんには統廃合の可能性について現時点で把握して頂き、話し合いをして頂く必要があると感じます。

○学務課長

近い将来、春松地区が複式学級となった場合、保護者の中で複式学級の学校に通学させたくないという理由で、羅臼小学校への校区変更を希望する保護者が出てくる可能性があり、春松地区の生徒数減少に繋がるという懸念もあります。

事実、根室管内においても、複式学級になりそうな学校や複式学級の学校の生徒の保護者複数、近隣の単式学級の学校への校区変更を申し出ているケースもあります。

しかし、現在の羅臼町のルールでは単式学級に通うことのみを目的とした校区変更についての規定がないことから、整理の必要があると感じています。

今後、PTAの中で複式学級となる可能性について情報共有がされた場合、地域から統廃合を望む声が出てくる可能性もあると思います。

○萬屋委員

道教委連の道知事要望に参加し、単式学級から複式学級になる学校が増えつつある状況の中で、現在は地元自治体の加配により学年を分担した授業をしている学校もあるので、複式学級においても学年ごとに授業を受けられる環境づくりについて、予算面を含めて支援して頂きたいという話はしてきています。

○学務課長

今回の情報共有の説明している際には、複式学級になる可能性については認識できているが、複式学級になると実際どうなるのかイメージ出来ないという方が多くいるように感じました。

○佐々木委員

適正配置計画では令和6年度まで、現在の2校2園を維持としており、地域から統廃合を望む意向がある場合は、統廃合に向けた協議がされることになっていますが、地域が意見をまとめる以前に、改めて羅臼町として統廃合についての計画を示すことは検討されていますか。

○学務課長

検討しておりませんが、現在の適正配置計画を作成した際には社会教育委員、校長会、教頭会を諮問団体としており、令和7年度以降の新たな適正配置計画の作成にあたっては、諮問機関となって頂いている団体には羅臼町の現状の説明を継続し、引き続き意見を頂きながら、作成にあたることとなります。

令和6年度中に令和7年度以降の新たな適正配置計画を作成しますが、その際に春松小学校は複式学級、羅臼小学校は単式学級という状況となっていれば、地域としてもその状況について考え直すことは十分あり得るのではないかと考えています。

なお、統廃合した場合の校舎の件については4年前に協議した際と状況が変わっており、4年前は2クラスになる学年があったため、全学年で6クラス以上となる可能性があり、羅臼小学校の校舎を使用するのが前提となっていました。現在のクラス数を考えると両小学校の全学年が1クラスであることから、春松小学校の校舎を使用することも可能であることも説明しております。

峯浜町や岬町からバス通学の所要時間で考えると、羅臼小学校を校舎として使用する場合は峯浜町からの通学も岬町からの通学も通学時間に大きな差はありませんが、春松小学校の校舎を使用する場合は、峯浜町の生徒はこれまでどおりの所要時間で通学できますが、岬町の生徒は市街地で乗り換えが伴い、通学時間が延びることに加えて、新1年生の生徒が乗り換えをしなければ通学できないという問題があり、保護者の理解が得られるかという課題もあり、スクールバスの運行が重要になると考えています。

しかし、現在、路線バスの運転手も不足している状況となっており、現状、バス3台で通学バスも含めて運行しているが、コロナ禍であることを考えるとスクールバスを運行する際には、三密回避のために6台程度での運行が理想ですが、運転手の確保が難しい状況となっています。

また、4年前の1校1園化の協議の際にも町長部局とスクールバス運行について協議しているが、当時から運転手確保は課題となっており、現在に至っています。

○萬屋委員

スクールバス運行の問題もありますが、いずれにしても適正配置計画は令和6年度までの計画となっているため、令和6年度中には次期計画を概ね完成させる必要があるため、今から方向性を含めて配置計画の作成を進めていくべきと考えます。

○石崎教育長

現在の適正配置計画においては令和6年度までの2校2園の維持を計画しており、諮問機関からご意見を頂いた上での計画であるということを踏まえると、直ちに教育委員会が1校1園化を推し進めるとするのは難しいと感じています。

しかし、人口減少や出生者数の推計を認識している中で、令和6年度を迎えた際に準備も説明もないということにはならないと考えております。

まずは、出生者数の推計資料を用いて、現実問題として各地区の子どもたちの数は減少傾向にあり、転出などによりさらに減少する可能性があることや、学級編成の際に在籍変更による複式学級となる可能性もあることなどについて、改めて各地区のPTA役員に説明を行いましたので、今後はPTAとしても問題意識を持って頂いた上で、進めていきたいと考えております。

○萬屋委員

教育委員会からのアプローチも当然必要ですが、情報共有の場を機会として、各地区の保護者の方を含めて、PTAが率先した働きかけをして頂けたらと思います。

○佐々木委員

1校1園化についてPTAの立場や役割を理解して頂けるような指導をすることはできますか。

○学務課長

教育委員会が指導することは可能です。

しかし、1校1園化については春松地区と羅臼地区で、学校がなくなる地区と受け入れる地区というそれぞれの立場があり、4年前の状況として校舎は羅臼小学校が前提となっていたことから、学校がなくなる春松地区からは反対意見が上がる一方で、羅臼地区からは、「人口減少や実際に春松小学校の生徒数をみれば、近い将来の統廃合は想定できたのでは。」という声も上がっていたため、それぞれの地区のPTAが別々に考えるのではなく、連合PTAとして羅臼町の学校の在り方を考えて頂くのが望ましいのではないかと思います。

○横澤主幹

連合PTAの事務局は春松小学校となっており、この問題については連合PTAで取り上げるべきであると春松のPTAでは声は出ていました。

どちらの学校を校舎として使うのかという問題はありますが、統廃合については連合PTAとして真剣に考えて頂くべきと感じます。

○石崎教育長

羅臼小学校を校舎として使用するという前提が4年前から変わっており、春松小学校を校舎として利用する形での統廃合の選択肢が生まれたことで、これまで受け入れる側であった羅臼小学校の保護者から反対意見を含んだ反響があるということを感じながら進めていく必要があると認識しています。

今後、両地区の幼稚園でも同様の情報共有をしてほしいとの声もありましたので、準備を進めると同時に、今後の定例教育委員会においても常に議題として取り上げながら進めて参ります。

その他として、事務局から連絡や報告はありますか。

○学務課長

1点報告させていただきます。

例年実施している学校訪問を6月23日に予定しており、今年度は教育大綱の見直しを行うこともあり、外部評価委員と共に町内の全学校の訪問を予定していますので、教育委員の皆様のご協力をお願い致します。

私からは以上です。

○石崎教育長

今回のPTAとの情報共有や全体を通して、ご意見、ご質問はございますか。

○佐々木委員

冒頭に報告のありました、町内の生徒児童のコロナの感染経路や、部活動を一緒にしていたなどの行動の共通点などは把握できていますか。

○学務課長

感染経路の確定はできておりません。

5月18日以降、欠席者が増えているという事実や、感染者した児童生徒、その家族の行動については聞取れますが、全体的な関連は見えていない状況です。

○石崎教育長

他に何かご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

それでは、これで予定されていた議事は終了となります。本日は大変お疲れ様でした。